

当院の思春期入院者への『院内学級』について

金子弥子¹⁾ 小田香織²⁾ 太田健介³⁾

1) 心理士 2) 看護師 3) 医師

医療法人耕仁会札幌太田病院 内観療法課

1.はじめに：不登校の原因に学業不振がある。せっかく登校可能になっても学力が伴わず、再発する原因となる。当院では、児童・生徒の学力停滞を回復し、不登校の再発を予防するために、学習支援を古くから実施。2009 年、学習指導者(大学生)専用ファイル、申送りノート、ワークなどを採用、システム化し、名称を「院内学級」に変更し、継続した学力向上を支援している。

2.院内学級実施要項： 実施日時：週 2 回、夕食後 60 分間。土日・祝日は、昼、夜の 1 日 2 回実施。 場所：ストレスケア病棟内、院内学級コーナー。 担当者：医・看護学生（5～6 名の交替制）、心理士 1 名。他主治医、看護師も関与。

3.院内学級マニュアル（以下一部を紹介）：まず、英数の学力テストで修学レベルを診断。わからない課題から教える。 安易に回答を教えない。 勉強のやり方を教える。 紙に書いて教える。 1 人の子に夢中にならない。 努力を褒める。・・指導側が苦痛に思うと生徒に伝わるので、楽しみながら、それでいて真剣に教えて下さい。頑張った分、児童・生徒は必ず喜び成長します。

4.まとめ・・学習は精神・作業療法である：院内学級は、平均 4～5 名の思春期症が参加。長期不登校から学力低下が著しく、3 学年下の学習から始める例も多い。院内学級は、子供の勤勉な姿勢、習慣を獲得し、充実した入院生活に役立つ。更に個別指導から基礎学力が向上し、具体的進学計画を立てる例も多々ある。また、医師、心理士などが、院内学級前後に進路、家族関係についての悩みを聴くことがある。従来の心理療法では表現されない自然な表情や感情は、院内学級、学習作業療法で表れることも多い。看護師にアンケートした結果「集団で学ぶことで、規律行動が可能になる」など、肯定的意見が多かった。また、教える医・看護学生にとっても、職業人として、将来子育てをする親の立場として、学ぶことが多いと思われる。